

伝えたい 守りたい 風景があります

まちだより

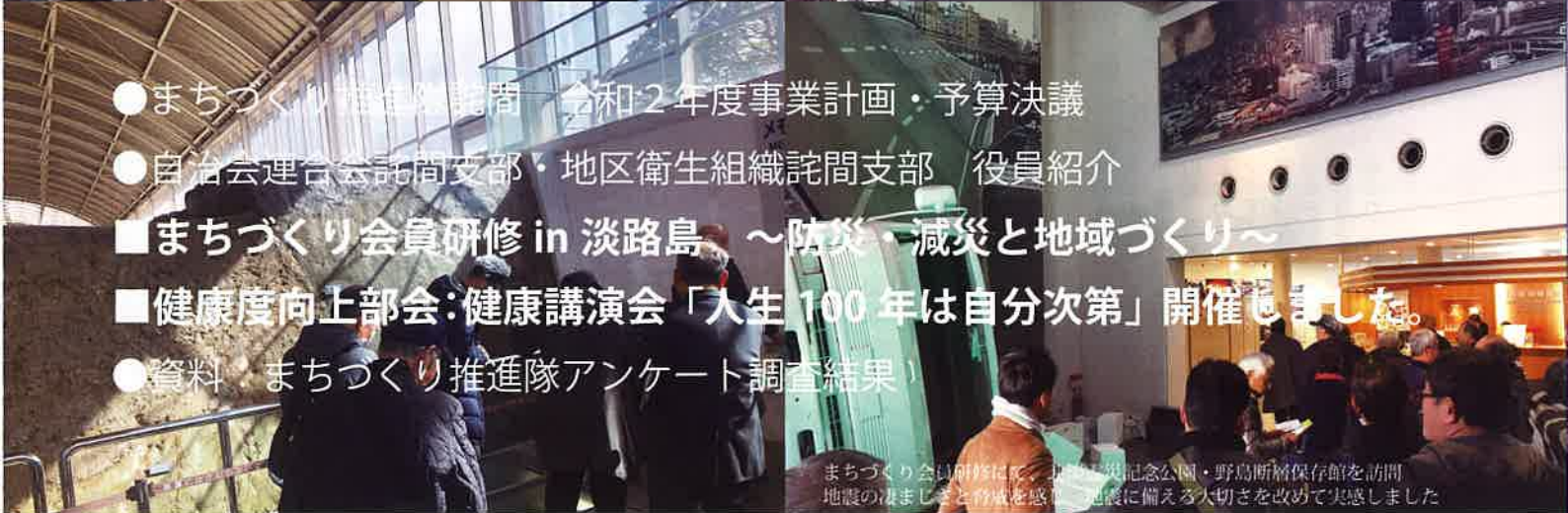
NPO法人まちづくり推進隊 広報誌 2020 | 7



16号



- まちづくり推進隊 令和2年度事業計画・予算決議
- 自治会連合会 託問支部・地区衛生組織 託問支部 役員紹介
- まちづくり会員研修 in 淡路島 ～防災・減災と地域づくり～
- 健康度向上部会：健康講演会「人生100年は自分次第」開催も済んだ。
- 資料 まちづくり推進隊アンケート調査結果



まちづくり会員の研修は、淡路島 歴史公園・野島所蔵保存館を訪問。地震の凄まじさと脅威を感じ、地震に備える大切さを改めて実感しました。

皆様と共に

「住みたい・住んでみたい町」

託問町を指して

今年、まちづくり推進隊託問の役員改選の年であり、理事の互選により理事長職を拝命いたしました曾根利幸と申します。微力ではありますが、二年の任期を全力で務めさせていただきます。関係各位のご支援、ご鞭撻のほどよろしく願います。

さて、まちづくり推進隊託問は設立以来八年が過ぎました。今年一月に町内全世帯に対し、まちづくり推進隊の事業を知っているか、期待することは何か、活動に参加しているか等のアンケートを実施しました。集計結果から、私たちの活動がまだまだ知られていないのではないかと感じております。町民の皆様が求めることと私たちの事業がうまくかみ合い、活動に参加してくださる人が増え、住みたい・住んでみたい町づくりに貢献できればと考えております。

四月の総会において、令和二年度の事業及び予算が承認されました。しかし新型コロナウイルスの感染拡大防止のため事業が予定通りスタートできていない状況にあります。様々な情報の収集に努め、可能な限り今年度の事業を進めてまいります。

町民の皆様には今後ともまちづくり推進隊託問の活動に、ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

NPO法人 まちづくり推進隊 託問

理事長 曾根 利幸



令和2年度 特定非営利活動法人まちづくり推進隊詫間 通常総会（書面決議）を開催いたしました



令和2年度通常総会は、令和2年4月24日（金）詫間町福祉センターホールにて、新型コロナウイルス感染症の流行による非常事態宣言が発令されるなか、異例ではありましたが、全会員に本總會資料及び書面議決のご理解をいただき、代表20名の縮小開催となりました。委任状5名、書面表決者85名合計110名で対応いたしました。

前年度事業・決算、監査報告並びに本年度事業・予算計画について審議・決議いたしました。

本總會は役員改選により、新理事長・理事そして監事が選任され、15名の新体制となりました。

- まちづくり推進隊詫間 新役員**
- 理事長 曾根利幸
 - 副理事長 猪兄勇二
 - 理事 内田利仁・大下利勝
 - 理事 太田雅博・椎野貴士
 - 理事 本田進・真鍋正幸
 - 理事 湊俊之・三宅俊輝
 - 理事 森伸男・吉久康徳
 - 監事 江頭昌道・矢野太一

《令和2年度活動事業計画》

■ 事業名（赤字＝新事業）
◇ 移譲業務 ◇

自治会連合会詫間支部事務局 / 地区衛生組織連合会詫間支部事務局 / 防犯・防災事業 / 公共施設管理

◇ 自主事業 ◇

コミュニティ施設指定管理 / 自主防災活動推進 / 花いっぱい活動推進 / 環境美化活動推進 / まちづくり活動助成 / 広報・広聴活動

〔魅力度向上部会〕

まちの魅力づくり発信拠点 / 島文化継承推進 / 観光農園推進 / まちづくり塾推進 / 地域資源活用推進 / 詫間探検調査 / 粟島アイキャンプ / DIY活用 / SNS活用推進 /グッズ販売

〔健康度向上部会〕

里山巡りで健康づくり / 志々島活性化 / ラジオ体操の普及 & ウォーキング / 男性料理教室 / 健康づくり農園 / 健康講演会の開催及びがん検診の推進 / 健康体操教室

〔安全度向上部会〕

交通安全教育支援 / 防災・減災意識啓発推進 / 地域安全推進

わたしたちは、 まちづくり推進隊詫間です。

まちづくり推進隊とは、自主的に地域コミュニティ活性化のために活動する三豊市の認定を受けた組織のことです。三豊市の行財政改革により生み出された財源の一部を交付金として、まちづくり推進隊は活動しています。



まちづくり推進隊詫間のロゴは、詫間町の海と山と桜、波間に浮かぶ粟島、志々島、丸山島、唐島をイメージしたカラフルなデザインです。

まちづくり推進隊詫間がまちを盛り上げる目印となるよう思いが込められています。

令和2年度 詫間支部総会開催

三豊市自治会連合会
三豊市地区衛生組織連合会

三豊市自治会連合会詫間支部及び三豊市地区衛生組織連合会詫間支部の令和2年度総会は、世界的（パンデミック）な新型コロナウイルス感染症拡大により、例年の総会開催が制約される中で、進行議事を59自治会の自治会長による書面表決でお願いし、代表（支部役員）の出席で開催いたしました。そして令和元年度の事業、決算、監査報告並びに令和2年度事業、予算計画案について協議し、承認されました。なお、本年度の新役員につきましては別掲で紹介させていただきます。

自治会連合会詫間支部 新役員

- 【支部長】 池田善信（仁老浜）
- 【副支部長】 安藤忠晃（美浜） 宮本昌臣（不天）
- 【理事】 新田健（新浜西） 秋山環樹（新的場） 砂留修司（的場） 香川昌生（神田下） 則包裕則（神田上） 田中敏彰（塩生） 森伸男（大浜）
- 【監事】 西山博之（高谷） 大坪弘一（鴨之越）
- 地区衛生組織連合会詫間支部 新役員
- 【支部長】 山田高保（生里）
- 【副支部長】 田淵忠司（大浜） 宮本昌臣（不天）
- 【理事】 平井秀樹（浜北） 倉本寛雅（浜田） 池田泰明（マリンガーデン） 峰久光正（本村中） 渡辺直樹（須田東） 富山晴信（塩生） 湊武（波止支）
- 【監事】 前西弘（浜中） 安藤洋三（宮ノ下）

広報・広聴活動



まちづくり会員研修
～防災・減災と地域づくり～

令和2年2月1日(土)、

24名が参加し、これからのまちづくり活動を発展させるため「防災・減災と地域づくり」と題し、兵庫県淡路市で研修会を開催。

第1部の北淡震災記念公園では、平成7年1月17日に発生した阪神・淡路大震災で実際に救助活動・避難生活を送られた語りべの方から経験談をお聞きし、「自助・共助」「地域でのコミュニケーション」「シミュレーション」の大切さ、防災意識の重要性を感じ、野島断層保存館では活断層の大きなズレが地震の大きさを物語っていて、被害の大きさを目の当たりにしま

した。

第2部として、阪神・淡路大震災での経験を生かし、東日本大震災で被災した宮城県にて長く復興支援を続けている「復興支援ネットワーク淡路島」の代表の木村幸一氏を講師に迎え、「防災・減災と地域づくり」と題し、ご講演いただきました。

様々な自然災害が多く、防災や減災、備えの必要性に気付き、行動を起こす人が増えている中、支援する側がされる側のニーズを把握し行動することが求められています。地域に住む住民とのつながりを大切に「地域づくりは

人づくり」と力強く語っていた木村さんが大変印象的でした。



地域づくりは、地域に目を向け課題を見つけ、地域の経済活性化につなげるために活動していくこと。それは、私たちの活動とも共通しており、一つの行動はすべてにつながり、たくさんの方の助けがあって進んでいくことを意識し、活動を推進していきます。今後も研修を重ね、まちづくり推進隊訪問の充実を図る予定です。



木村幸一氏
復興支援ネットワーク淡路島世話人代表。阪神淡路大震災の際、復旧活動に走り回った経験を活かし、東日本大震災では発生直後から救済物資を集め、夜を徹して東北に届けた。現在も継続して支援を続けている。



米山正幸氏
北淡震災記念公園館長。29才の時に阪神淡路大震災を体験。「震災の語りべ」として震災の体験と教訓を多くの人に伝える。好きな言葉は「一期一会」。



健康度向上部会

健康講演会＆健康測定会
及びがん検診の推進

健康講演会&健康測定会
令和2年1月29日(日)マ

リンウエーブのマーガレットホールで、三豊市永康病院院長瀧中淳一氏を迎え「人生100年はあなた次第」をテーマにご講演いただきました。また、同病院リハビリテーション科技師松本氏による「かたん健康体操」も行いました。講演の初めには三豊市健康課好川氏から、三豊市の健康状況のお話を伺いました。ロビーではそうごう薬局による無料健康測定会を開催し、約450名という多くの方にご参加いただきました。

花いっぱい活動推進

夏の花苗配布

市内の小中学校、保育所幼稚園50施設と、詫間町内の自治会など40団体に、フラワーセンターの皆さんが育苗してくださった約二万三千株の花苗(マリーゴールド、サルビア、松葉ボタン、百日草の4種)の配布を行いました。



5月といっても初夏のような暑い日差しの中、地域の皆さん、先生方が花の植え替え作業を行いました。5月19日には早朝から須田ボランティアのみなさんが詫間町市民グラウンドの横の花壇に花植え作業をされています。

コロナ禍の中で外出について自粛要請が出ている中ですが、気分転換、体力作りにお散歩される方、通勤途中の皆さんの目を楽ませてくださいました。



栗島の城ノ山山頂から見渡せる瀬戸内海と島々



おしらせ

◎地区衛生組織連合会新聞支部より

令和2年度 第2回資源回収のお知らせ

資源回収を下記の日程で行います

- 9月20日(日) 第1分館
- 9月27日(日) 第2分館
- 10月4日(日) 第3分館
- 10月11日(日) 第4分館
- 10月25日(日) 第5・6分館

※荒天延期の場合は、第5・6分館が終わった後の日曜日から行います



◎魅力度向上部会より

第12回箱裏マルシェ urawaza 開催!

日時：2020年8月2日(日)
9:30~14:30

場所：箱浦ビジターハウス
詫間町箱859-29

出店者：後日FB、チラシなどで発表します

※新型コロナウイルス感染拡大等の状況で中止になる場合があります



大きく作った
トウモロコしに
来てお!



この春新型コロナウイルス感染症拡大防止のために入園禁止になったフラワーパーク浦島。花は今年も見事に美しく咲いてくれました。楽しみにしてくれていた皆さんに届けたいと、花束にして市内道の駅で販売しました。

フォトギャラリー



4月18日から5月31日までフラワーパーク浦島を入園禁止にしました。開園以来初めてのことでした。



去年の10月に松崎小学校(現4年生)21名で植えたキンセンカは4月上旬に満開に。



ピンクのハートは松崎小学校(現4年生)76名で植えました。小さかった苗がこんなに大きくなるなんて!



豊島の嶺/山を背景に、可憐に咲き、風に揺れるマーガレット。本当に美しい花畑でした。



お花をお見せしたい!という思いで、初めての花束出荷作業。花屋さんの大助を身に染みて感じました。



花と浦島イベント実行委員会役員さんやボランティアさん、美咲クラブの皆さん総出で早朝からの花摘み作業。



おかげさまで、1000以上の花束を出荷することができました。ご購入、応援してくださった皆さんに感謝!



町内の子供たちとの花摘み関連イベントも今年は中止。花を届けるとこんな素敵なお手紙をいただきました(涙)

募集中!

「一緒に詫間町を盛り上げませんか？」

まちづくり推進隊詫間の自主事業である3部会「安全度向上部会」「魅力度向上部会」「健康度向上部会」では、みなさまのアイデアとパワーをいつでもお待ちしております。詫間町の未来のために一緒に活動しませんか?

性別・年齢は問いません。

お気軽にお問い合わせください。

「こんなことがあったらいいな」「こんなことがしたいな」「もっとこうの方がいいと思う」そんなアナタをお待ちしています!



特定非営利活動法人 まちづくり推進隊詫間

香川県三豊市詫間町詫間 1338-127 (平日 8:30~17:15)

TEL: 0875-83-3639 FAX: 0875-83-3812

MAIL: takumatai@mx41.tiki.ne.jp



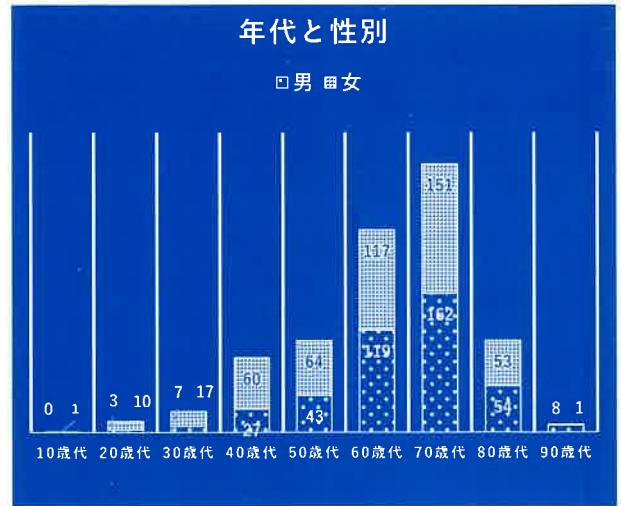
あなたの近くで活動中!
Facebook 見に来てお!

まちづくり推進隊詫間 アンケート調査結果

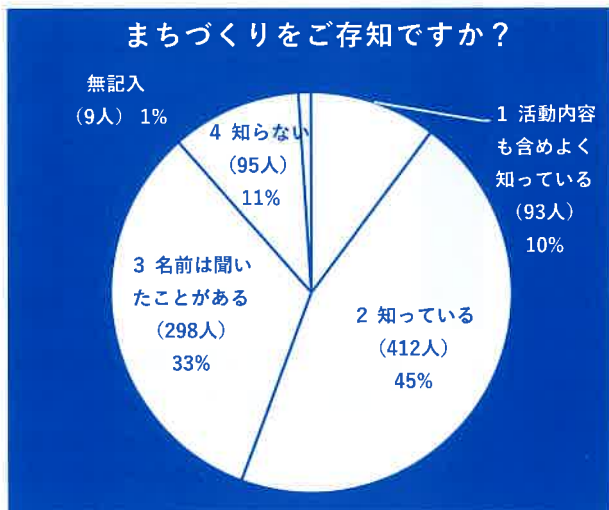
この度、地域コミュニティ活性化のために活動する「まちづくり推進隊」の活性化や活動への市民参加を進めるにあたり、市民皆さまからのご意見やご提案をお願いするアンケート調査を実施しました。アンケートは広報みとよ1月号と一緒に各世帯に配布し、1月31日の締め切りまでに907名の方からご回答をいただきました。ご協力ありがとうございました。

各アンケート調査結果をとりまとめたものをご報告いたします。

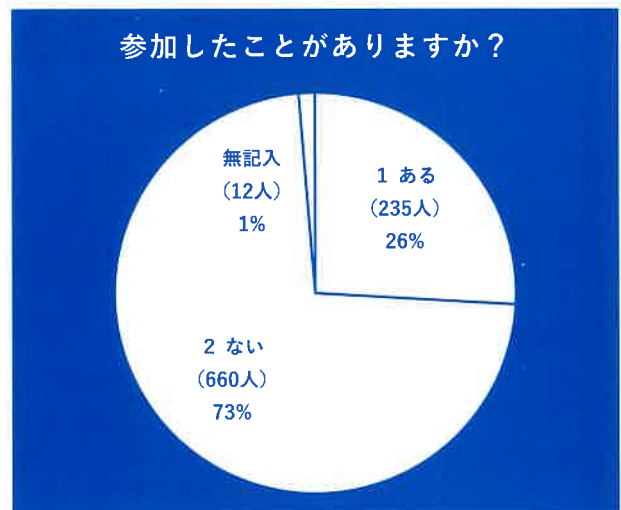
Q 1 : あなたの年齢と性別を教えてください。



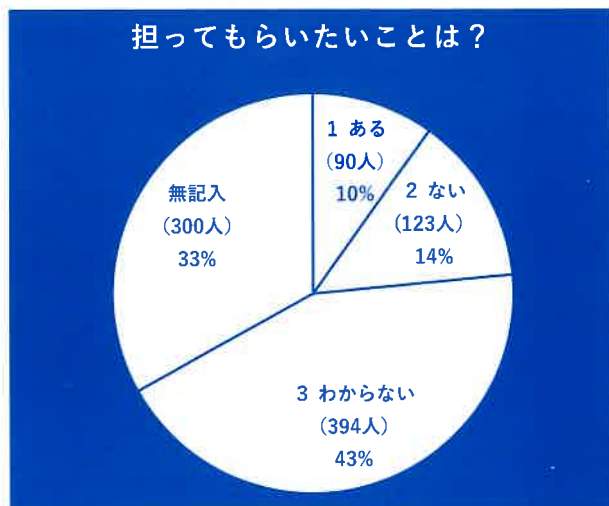
Q 2 : まちづくり推進隊詫間をご存知ですか？



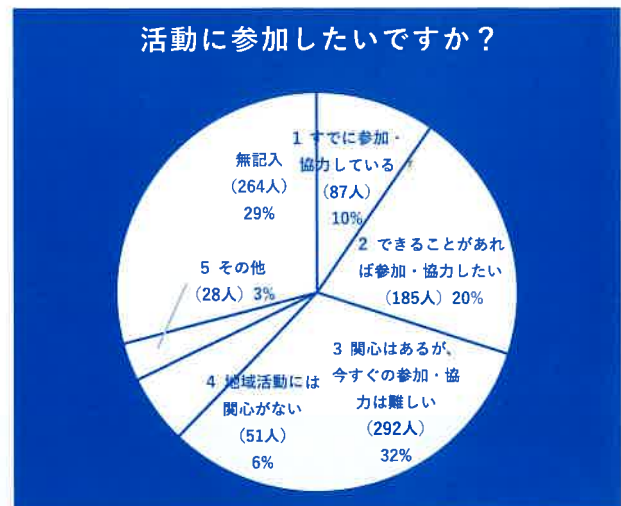
Q 3 : まちづくり推進隊詫間の活動に参加したことはありますか？



Q 4 : まちづくり推進隊詫間に担ってもらいたいことはありますか？



Q 5 : まちづくり推進隊詫間の活動に参加したいですか？



→どんなこと？裏面へ

Q 7：地域で困っていること、まちづくり推進隊詰間に担ってもらいたいことは？※一部抜粋

種類	詳細
1 空家問題 (20 件)	空き家の調査と管理。空き家がふえて、雑草や害虫など衛生的な生活をおよびやす恐れがある。
2 ゴミ・海ごみ(17 件)	海から流れてくるゴミ、拾っても拾ってもきりがありません。路上や山、川、海へのゴミのぼい捨て。島を含めて海岸のゴミ掃除が大変。
3 イノシシ問題 (11 件)	イノシシが出て困っている。農作物を食べたり、田んぼを掘ったり、家の周りをかき回り、家の中(納屋など)に入って来るのではないかと心配、怖い。国とか県全体で対策を考えて欲しいです。
4 防災対策 (10 件)	実際に災害にあった時の対応の仕方、避難場所の整備等。災害の時の避難所をもっと市民に告知してほしい。訓練に参加していない方々もスムーズに避難できるシステムと告知してほしい。
5 高齢者対策 (7 件)	一人住まいの高齢者の安全、安心、防災対策。コミュニティバス停にお年寄りのためベンチを作ってください。
6 イベント・マルシェ (7 件)	若い方だけではなく年齢層の幅が広がる様な、そして気軽に参加できるイベントを期待しています。人が集まれる催しをして頂ければと思います。定期的なマルシェを増やしてほしい。
7 拠点運営 (6 件)	各自治会ベースで誰もが立ち寄れる場所を作り、コミュニティのとれる町づくりがあればと思う！子ども(小学生)は放課後保育にとの事だが、地域の皆で見ればベストかなと思う！！ 三野町のみの元気塾のような、誰でも簡単に集える場所があればいいなと思う。 地域コミュニティの拠点運営
8 耕作放棄地 (6 件)	耕作放棄地の調査と有効利用 田畑の放置が多い。雑草が背丈程に育ち困っている。
9 移動手段 (5 件)	高齢者が車を運転しなくてよいためサービス(買い物や病院)運転免許が無いと生活が難しい。 バス停が遠い。 お年寄りの人は買物ができない人(買物難民)が多い。
10 観光 PR (4 件)	荘内半島のアピール・ブランド魚を作る・浦島伝説のアピール・観光地アピール→特に都市部へ 詰間を香川県一の観光地にして下さい。
11 伝統 (3 件)	地域の伝統文化を続けるように。
12 子育て支援 (3 件)	子ども会活動支援、子育て世代が交流できる場づくり
13 声かけ (3 件)	地域のパトロール・高齢者への声かけ・子供たちへの声かけ・外国の方への声かけ。外国人労働者に親切な対応をする。
14 後継者・若者参加 (3 件)	いろいろ行事があるなかで若い方の参加がいつも少ない状況にある。若い方への参加を今後どうすべきか考えてほしい！(各自治会も同様であると思います)
15 地域連携 (2 件)	まちづくり活動として地域の絆作り事業を他の団体と連携して行ってほしい。(公民館、分館、社協、地区社協など) 学校、幼保、協議会、婦人老人会、青年等) 特に 30～50 才代の男女を問わず
16 学童見守り (1 件)	町内別小・中学校の学童登校、下校時における安全確保を目的とする警護活動

Q 8：まちづくり推進隊詰間の事業で、知っている活動に○をつけてください。

事業名	○
1 自治会連合会事務局	210
2 地区衛生組織連合会事務局	144
3 防犯・防災事業	271
4 公共施設管理事業	149
1 松崎コミュニティ施設管理	220
2 箱浦ビジターハウス施設管理	181
3 箱裏マルシェ	373
4 まちだより広報誌発行	280
5 健康講演会	180
6 里山めぐりで健康づくり	116
7 健康づくり農園	55
8 ラジオ体操&ウォーキング	165
9 まちづくり活動助成	131
10 志々島活性化事業	360
11 粟島ガイド	115
12 まちづくり塾推進	38
13 防災フェスタ	309
14 防災標語の募集	66
15 防災研修・講演	156
16 交通安全教育支援	83
17 観光農園	69
18 町内一斉環境美化活動	628

Q 9：まちづくり推進隊詰間へのご意見、ご提案をお聞かせください。※一部抜粋

- ・初めて参加するには勇気があるような気がする。
- ・協力してもよいと思っている人が気軽に参加できればよいと思う。
- ・どの活動が推進隊がやっているものなのか、どう協力すればよいのか、よくわかりません。
- ・もっとアピールを！老人にもよくわかる様に！
- ・アンケートの結果で改善するのか？
- ・他団体でも同様な活動があり、まとめられるものは集約してよりよい活動にしてほしい。
- ・行政がすべきことと推進隊がすべきことは整理すべき。
- ・何か町おこしのためにやってみたくてと思っている人たちと議論するだけでも地域のつながりが広まってくると思います。
- ・詰間も住みやすい、明るいにぎやかな町になることを望みます。
- ・リーダー育成に努めてもらいたい。いろんな活動の次期リーダー、継続していく体制作りの支援をしてほしい。
- ・町を活気づけるために様々な活動をして企画・実行してくれている。
- ・参加・協力できることはしていきたいです。
- ・地域活性化の為にこれからも期待しています。
- ・三豊市の中で推進隊詰間が一番積極的な活動をされている。マルシェ、防災フェスタ等、様々なところで見かけます。

ありがとう
ございました

いただいたご意見・ご要望、お困りごとについては、市や各団体にも情報共有しながら、より暮らしやすいまちづくりに努めていきたいと思っております。多くのご意見をありがとうございました。